

Live in Style

上質な暮らし方を追求するライフデザイン誌 【リブ イン スタイル】

株式会社 ハウスプロ

Vol. 85

【特集】最高に心地いいガーデンづくり
◆庭と上手につきあうお手入れ計画
◆ガーデンバリエーション特集



お花が大好きという国民性をもつイギリスでは、リタイア後は“園芸が十分に楽しめる郊外に家をもつ”人が多いそうです。夫妻で一年中ガーデニングを楽しみ、さらに庭を公開している家を集めたガイドブックまであるというから、イングリッシュガーデンが世界的に有名なのもうなずけます。では日本庭園はどうでしょう。西洋のように外からどう見えるのかに重きをおかず、建物の付属品として家から眺めるものとされていました。しかし、そこには散策するという目的も持ち合わせており、自然のように魅せるイギリス風に対して、樹木は仕立てるもの、と形式美も尊重しています。そこで今号では、わが家はどんな庭にしたいのかをいろいろな工夫で考えてみましょう。

最高に心地いいガーデンづくり

休日を家で過ごす家族のための庭づくりが、注目を集めています。例えば、「アウトドアリビング」という言葉があるように、「庭」をれっきとしたもう一つの部屋として考え、“庭で何かをしよう”という積極的な思考が現代のガーデンデザインにつながっています。イギリスではガーデンコンテストがあるほど、いかに個性を表現するかが問われますが、日本でも庭は家族の個性やライフスタイルを表現する場として大切な存在になってきています。家族とお茶をしたり、お友達とバーベキューを楽しんだり、子供たちの遊び場に活用したり、さらには菜園をしたい人も…。限られたスペースを使って、家族各々がどのように楽しみたいかを、設計時に考えておくと便利



です。庭というスペースを「心地いいもう一つの部屋にする」という考えをもてば、毎日の暮らしに楽しみが増え、家族の行動の幅も広がることでしょう。素敵なコミュニケーションの場として、十分に活用していきましょう。

新築時には、まず庭の目的を考えよう



庭が注目されてきたとはいえ、建物のことほど庭のことをしっかり考えている人はまだ少ないようです。一言で庭といっても①メインの庭②玄関周りなどの庭③坪庭・中庭などがあり、新築時には、まず自分の好みやライフスタイル、そして住宅との調和を考え、全体のイメージを具体化していくことが大切です。リビングからつながりをもたせた第2のリビングとしての庭が人気ですが、「眺めていたい庭」なのか「大いに活用したい庭」なのかによって、庭の計画が大きく左右されます。また、その庭が東西南北どちらに面しているかでも使い方や目的が変わってくるでしょう。さらに「庭越しに家の中を見られたくない」「光を確保するための中庭や坪庭」が欲しいなら、室内からの魅せ方にもひと工夫しましょう。リビングからのつながりをもたせることで空間を二倍以上も広く活用することも可能になってきます。



庭と上手につきあうお手入れ計画

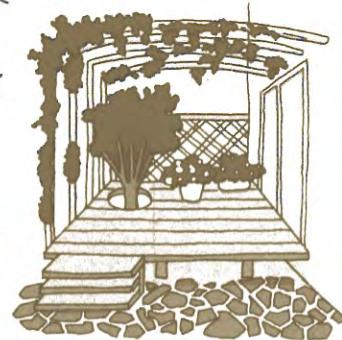
ようやく「理想の庭」が完成したと思っても、その後のメンテナンスをどうするかが重要。将来的に庭の存在がストレスにならないよう、事前にお手入れ計画を考えておきたいものです。

自分で手間をかけるための庭

ガーデニングを楽しみたい方へおすすめなのは“庭木を活かす”方法です。生垣を巡らせて視線を遮る方法も良いですが、気になる部分に木々を植えるだけでも効果的。高さの違う木をバランスよく配置したり、中高木と低木を前後に重ね合わせれば、視線が気にならなくなるとともに庭の眺めを高めることができます。

手間をかけずに手入れがしやすい庭

手入れしやすい植物や常緑樹などを植え、ウッドデッキや人工芝、タイルなど、芝刈りの時間を短縮できる素材をうまく活用しましょう。わが家の庭をどう手入れしていくかによって、新築の時点から「全て業者に依頼する」「自分で造る」「大掛かりまたは難しい部分のみ依頼する」のかを見極めていきましょう。



特集

最高に心地いい ガーデンづくり

花や緑とともに
快適な暮らしを
満喫するアイデア



手作りインテリアを楽しむ

丸いフォルムがこころ和む苔玉をつくろう

インテリアに気軽にグリーンを取り入れる方法として、苔玉を飾ってみませんか？自分の手で作った苔玉は、愛着も湧いてきますし、手入れも簡単。鮮やかなグリーンが目の保養になります。

<つくり方>

- まず、苔玉の土を作ります。ケト土5、富士砂1.5、赤玉土3.5、くん炭5% 緩行性肥料を少量、すべてをテリが出るまでよく混ぜ合わせて丸めます。
- 土を落としておいたお好きな植物を、丸めた土に差して、好みの形にします。



- 購入した苔を水で湿らせ、丸めた土に貼りつけていきます。土が見えなくなったら綿100%の糸が釣り糸でいぼります。



Trend Style



わが家らしい庭を楽しむ。眺める。くつろぐ。ガーデンバリエーション特集

庭と一言で言っても、今では世界中で実に様々なスタイルが楽しまれています。お国柄を表現した庭はもちろん、住む人のセンスや個性を自由に表現したもので、実に「一つとして同じもの」がないのが、庭の魅力といえます。どこの国にいても、緑や花は、人々を癒してくれる存在であり、また「手をかけた分だけ美しく育ってくれる」や「甲斐のようなものを感じられる」と言えるのでしょう。さて今号では、家族の生活の志向やスペースに応じたガーデンバリエーションをご紹介します。



花があふれる イングリッシュガーデン



イングリッシュガーデンの主演は植物たち。季節ごとの様々なカラーの花たちを立体的に見せると、よりヨーロッパ風になります。さらに、フェンスやアーチなどで植物と組み合わせると本格的に。特にツルバラとは相性抜群です。木製のラティスフェンスなら、植木鉢を引っ掛けることができ、ベランダなど限られた範囲でのガーデニングにも役立ちます。白木やナチュラル、ニスを塗ったような黒系など、木目もバリエーションがあるので、庭のテイストに合うものをセレクト。また、レンガや石などを利用して小道を造るのもイギリス風。道の両側にも小花やハーブを植えて可愛らしくデザインしましょう。

石やタイル、照明などで 美しく作り込んだ庭



「庭は作りたいけど手入れをする自信がない」というご家庭は意外に多いものです。そんな場合は、タイルをはじめ、石や砂利など、人工の材料を使った庭がおすすめ。植物以外の素材の割合が多いと、圧倒的に「お手入れが楽になる」というメリットがあります。

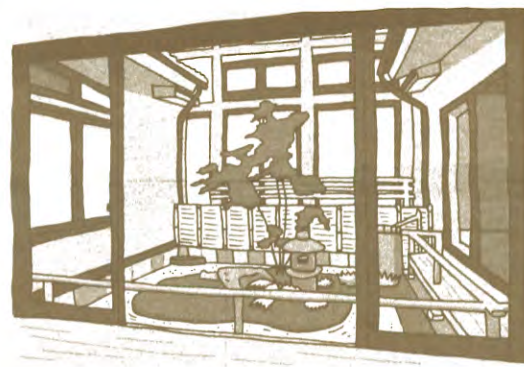
植栽地とそうでない所を分けて植栽地以外は舗装すると、庭空間にメリハリができ、草取りに時間を取られる心配もなくなります。庭を立体的に魅せるパーゴラや、水のせせらぎを楽しめる壁泉、さらに夜の庭を幻想的に演出するイルミネーションをはじめ、照明器具などの力を借りて、美しく演出しましょう。灯りがある



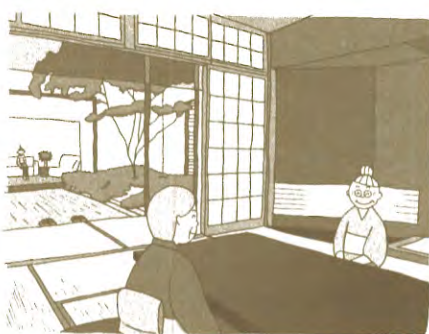
だけでも防犯対策にもなり一石二鳥。また、タイル貼りの庭は、虫に悩まされることも少なく、お茶やバーベキューが楽しめるというメリットも大。ベンチや置物など、庭を引き立てるガーデン雑貨もお忘れなく。

町家にみならう坪庭の 奥深さをもう一度

京都の町屋に坪庭が誕生したのは桃山時代。間口が狭く、奥に長い「うなぎの寝床」のような構造のため、採光と風通しのために造られたのが「坪庭」でした。コンパクトな空間に差し込む光、降り注ぐ雨や雪、風に揺れる草木…。人々は、そんな坪庭が見せてくれる表情から四季の移ろいを感じ取っていました。また、和の庭園の魅力は、ただ単に景観としての美しさだけではなく、石を組み上げて滝を表現したり、自然の一部を取り込んで大風景を作る味わいがあります。また、水を使わずに大海や水の流れを表現する「枯山水」の奥深さも、気軽に楽しんでみましょう。



プライバシーも守って目の保養にもなる中庭のすすめ



街の中に家がある場合は、庭を楽しむにあっても外からの視線が気になるもの。「カーテンを閉めない生活がしたい」「道路を歩く人に家の中を覗かれたくない」という家族には、中庭を取り入れてはみませんか。プライバシーを守れること、太陽の光をふんだんに入れられることが最大のメリットで、さらに、それぞれの部屋から中庭に出られるので、家族のコミュニケーションにも活用できる場所になります。リビングまたは和室からつながるように、ウッドデッキを設ければ、縁側のようにくつろぐことができます。また、家の中心に緑があるだけで目の保養になるのが嬉しいですね。

バスルームから坪庭を眺める贅沢を

和室や玄関からの坪庭もいいですが、バスルームから眺められる坪庭というのも風流です。夜にはライトアップすれば雰囲気が出て、家にいながら“温泉”に出かけたような風情とご褒美感が楽しめます。条件としては、塀と浴室のあいだに少し空間を設けること、植物を植えられる環境にすること。さらには、隣近所や公道からの視線や角度も確認しておきましょう。



新築時のガーデンプランで家の印象を決める

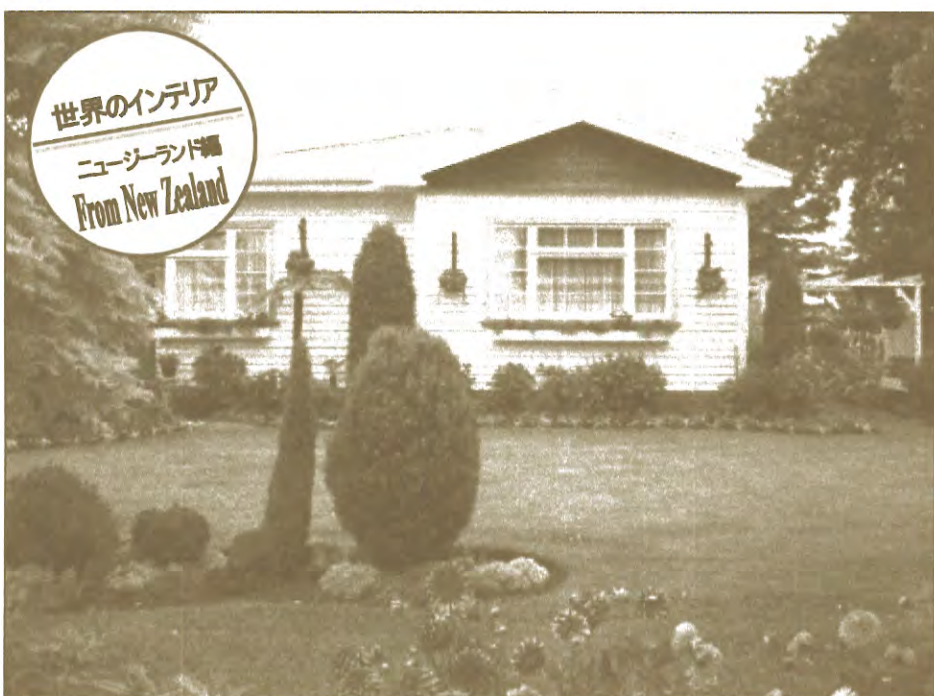
一戸建てを建てる際、「庭」をどうするか悩む人も多いのではないのでしょうか。庭の専門家である造園業者から外構のプロであるエクステリア業者、ガーデンデザイナーなど、誰に依頼するにしても、だいたいの希望イメージを伝えておくことが大事です。まず第一に考えておきたいのは、住宅と庭の調和について。モダン、ヨーロピアン、和、優しい、すっきりなど好みのテイストは決めておきましょう。特に玄関の外側に植栽をするなら、植物の種類や花の色などが、外観の印象に大きく関わってきます。門や門柱から玄関までのアプローチをはじめ、道との境界線、パーキング周りなど、エクステリアに花や緑のあるお宅は素敵に見えるもの。道行く人に眺めてもらえるオープンプランも人気です。



<モダン×オープンプラン>
エントランス自体を庭に見立てる、アメリカンスタイルのモダンガーデンも取り入れられています。



<和モダン×オープンプラン>
石垣も歩く人の目を楽しませる和のスタイルで。適度な木の配置でプライバシーを確保します。



世界のインテリア
ニュージーランド編
From New Zealand

クライストチャーチ郊外の花に囲まれた家
ニュージーランドのクライストチャーチから、北東へ向かって車で15分。DALLINGTON(ダリントン)の街は、イギリススタイルの可愛い家が立ち並ぶ閑静な住宅街です。名門ゴルフコースが近くにあるため、海外からのロングステイ旅行にも人気。今号はガーデンコンテストの個人部門で入賞した、お花にあふれたお宅へ訪問しました。

特集
最高に心地いい
ガーデンづくり

花や緑とともに
快適な暮らしを
満喫するアイデア

ガーデンコンテスト(個人部門)に常連で入賞されるほど行き届いたメンテナンスを誇る、完成度の高いお庭。デザイン、土壌、種からの育成・維持管理をコンテスト時期に合わせてお庭を最高の状態に上げています。全体から微細な部分にわたる作業はプロも顔負けです。

Steve&Janet ウェルズ夫妻のこだわりの庭

仕事をリタイアされた後はガーデニングが人生の糧となっているウェルズ夫妻。ニュージーランドの庭はイギリス流ですが、イギリスと違い年間を通して温暖な気候なので花の種類を豊富に楽しめます。ガーデンシティといわれるべく、「クライストチャーチ・ガーデンコンテスト」が毎年春夏に2回行なわれます。道路から見て審査する前庭部門、裏庭、デザイン、土壌、育成などの分野を多岐に渡り審査するので、数年をかけた準備が必要となります。街全体の景観が美しく、入賞の標識は市民の名誉に。



テラスには日除け対策を。
窓辺には花を絶やさず

個々のプライベートガーデンがきれいに整備され、ストリートに面した外観もぬかりなく。コンテストには、ストリート全体の部門もあるというから、近所の方々とも協力あって、みんなが自分の庭や景観を大切にしています。



玄関の前には、人々の憩いの場所になる屋外チェアやパラソルが置かれ、お喋りもたえません。



さらに窓辺にも花々を欠かさずことなく、外からも中からも、人々の目を楽しませてくれています。デザインはもちろん、色彩の計算もされているからですが。窓辺に小鳥たちもやってきます。

バランスを考えた植栽計画で
玄関までの道も楽しく

エントランスから家の玄関までのアプローチは、ガーデナーの腕の見せどころ。芝生を敷きつめた小道では、カラフルな小花が出迎えてくれ、その先にはアーチで優しく歓迎してくれます。どこを切り取っても絵になるように、巧みにデザインされているのが職人技といえるでしょう。さらに注目したいのは、お隣との境界線である堀に、バードハウスを設置していること。餌を求めて、毎日この庭に立ち寄ってくれる“小鳥たちのさえずり”を楽しむことができます。



裏庭へは花のアーチをくぐって……

家のバックヤードに進むと、屋根のあるコーナーでさらに植物が楽しめます。太陽光を遮らない半透明の屋根で、ほどよく光を受けられるシダ類の植物が、生き生きと育っています。さらに吊るすタイプのハンギングプランターで、美しいフォルムの花々に目を奪われます。雨の日も管理ができて便利な場所。



ジャネット奥様の多趣味なアトリエ……

アマチュア画家である奥様のアトリエには、庭で咲いた花を使ったドライフラワーのアレンジメントであふれていました。壁一面には、自ら描いた水彩がバランスよく整列。さらに



手芸や小物づくりのためのパーツも揃えており、多趣味さが伺えます。ご主人のSteveも家具のリメイクなどを楽しみ、ご夫婦で意欲的に暮らされています。



■ エディブルガーデン<食べられる庭>のすすめ

ガーデニングというと花を思い浮かべますが、果樹や野菜を植えると視覚だけでなく嗅覚や味覚などの五感も刺激され楽しみが増えます。こうした庭は食べられるという意味のエディブル(edible)をつけて、「エディブルガーデン」と呼ばれています。初めは育てやすいハーブや香味野菜を植え、料理に使ったりハーブティーを楽しむのもおすすめ。食べられる野菜やハーブだけでは華やかさがないと心配されるかもしれませんが、植え方次第で美しく仕上がります。例えば、フェネル、チャイブ、ケールなどと形の違う葉物を配置したり、ラベンダーやミントなどの花を咲かせるハーブや



果樹と組み合わせ、高低差をつけると素敵で美味しいエディブルガーデンが完成します。収穫する楽しみは、子供達への食育としても活かされます。

■ ガーデンオーナメントで野鳥を呼ぶ楽しみを

庭の楽しみの一つとしてバードウォッチングがあります。しかし実のならない木や針葉樹だけの庭は、野鳥が集まりにくいと言われています。そんな庭に少しのアイテムを加えると自然の鳥を呼び戻すための庭に変えることができるのです。必要なのはバードバス(水場)とバードフィーダー(餌場)。ネコやカラスに注意して置き場所を決めます。餌は、イラストのように果樹やナッツの他に小麦粉などで手軽に作れるバードケーキ(練り餌)がおすすめ。ただし注意したいのは餌やりの時期。餌の少ない冬場だけにしておきましょう。鳥たちは一度覚えるとあてにやってくるので、餌やりは毎日欠かさず、量は控えめに。春には野鳥本来の自然での生活を尊重しましょう。



気になりました 気に入りました...

わがガーデンに、さらに愛着をもたらしてくれるデザイン雑貨。

始めたばかりのガーデニングを、もっと楽しくさせてくれるデザイン性と機能性。両方を兼ね備えた、魅力的なガーデニング雑貨たちをご紹介します。

旅行中の水やりの心配はもう不要です

キッカーランド ウォーターフロムアストーン

「Kikkerland / WATER FROM A STONE」

植物の水やりを助けてくれる手吹きガラスのウォーターキーパー。約200mlの容量で下面の小さな穴からぼたぼたと水がでて、3〜4日間持ちます。観葉植物などは、どうしても水をあげるのを忘れてしまいがちですが、そんな場合や旅行等で数日お家を空けてしまう時にも、とっても便利です。小さな観葉植物などに適したサイズで、グリーンの中に、水を入れたガラスが入ると、視

覚的にもバランスが良く、とっても可愛いらしいなめらかなガラスの球面は、まるでオブジェのよう。太陽に照らされると、見ているだけで癒されます。グリーンと共にリラックスタイムに眺めるのもいいです。



¥1,500-

ZEN-YOU

Tel: 0532-46-1662

rakuten.ne.jp/gold/zen-you/

サイズ: W9×D6×H9.5cm

容量: 約200ml

素材: ガラス

備考: 2個セット

英国王立園芸協会が認定した世界のグローブ ゴールドリーフ 「Gold Leaf / ガーデニンググローブ タフタッチ」

ユニークなデザインのロングタイプのタフタッチグローブはバラの誘因や剪定などの本格的なガーデニング作業に最適です。保温力もある丈夫な革手袋でありながら、指先まで動かせる柔軟性に



¥7,000-

富んでいます。手の部分は耐水加工をした鹿革で、手首から肘までカバーする長めの袖口は牛革を用いています。世界中のガーデナーやバラ職人が御用達のプロ仕様です。

サイズ: (下記は平置採寸しています)

[メンズ]フリーサイズ/全長34.5cm/中指長さ約9cm

[レディース]フリーサイズ/全長32cm/中指長さ約8.5cm

素材: [手]鹿革 [袖口]牛革

エコツールマーケット

Tel: 0794-86-7000

rakuten.co.jp/ecotoolmarket/

ワインボトルを持ち歩くような気軽さ。屋外もOKのランプ

アンビエンティック ボトルド

「Ambientec / Bottled コードレスランプ」

Bottledは、ワインボトルに灯りを封じ込めたような自由に持ち運びができる充電式のLEDライト。重厚感あるガラスの内側を特殊加工し、光を柔らかく拡散しながらも艶やかさと透明感をあわせ持った灯りです。灯りは単に場を明るくするためだけではなく空間を演出し気分を和らげ、時には音楽のようにエモーショナルな役割もします。4段階の調光機能もあり、ベッドサイドやガーデン、テラスなど、どんな場所でも使い方はアイデア次第。



¥29,000-

リビング・モティーフ

Tel: 03-3587-2784

www.livingmotif.com

サイズ: 約中10×H25cm、1,165g

素材: [シェード]特殊塗装ガラス

[ベース]耐食性アルミ、シリコングム

仕様: [光源]LED (18個)[調光]4段階

付属品: 充電台、ACアダプター 消費電力: 0.15〜3.5W

I'm Home

住み替えしませんか? もっと心地よい暮らしに。 House Pro

ハウスプロがおすすめる暮らし方

Vol.7 プライベートガーデンのある暮らし

ライフスタイルに合わせて多様化する“庭のある暮らし”

限られた敷地の中で、より心地良く、楽しく住むためのリラックススペースを造りませんか。住宅街におけるあたたかいガーデンスタイルのご紹介です。



<当社施工例>

屋上は家族のプライベート空間 屋上庭園・スカイバルコニー

地上では得られない開放感が満喫できる、とっておきの空間です。四季折々の景色を眺めながら周囲からの視線を気にすることなく、屋上にいるような居心地の良さが魅力です。

限られた空間を広く見せる 中庭テラス・パティオ

周囲を囲われた屋根のない空間。窓の外の景色を住空間に取り入れたプランニングは家そのものに広がりを持たせる効果があります。通りに面した立地であってもプライバシーを保て、リビングの延長として家族で共用できるスペース。



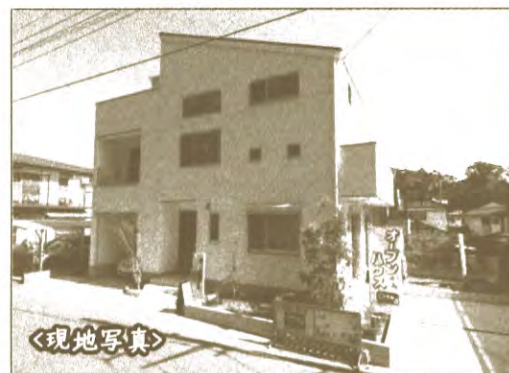
<当社施工例>



デザイン住宅を「体感」。 モデルハウス見学申し込み受付中!



家族の暮らし方に合わせて、コンセプトのある庭と住まいを選べることは、新築一戸建て住宅の魅力のひとつ。ハウスプロでは、様々なバリエーションのプランニングを実際にご覧いただき、体感していただけるモデルハウスを公開しています。



<現地写真>

あらわしの梁とシーリングファンが視界を上へ広げ、スキップフロアのサブリビングとの一体感をさらに高めています。シャッター付きのビルトインガレージからは直接玄関へとつながる扉つき。ガレージ壁面はガラスのため、屋内外ともに広がりを感じる空間となっています。

屋上部には11.7帖の広さを持つ「スカイバルコニー」のある住まい。陽当たりや風の通りが良い心地良い空間は、周囲の視線があまり気にならないため、カフェテーブルやハンモックなどを置いてくつろいだり、お子様の遊び場にも最適です。カースペース脇には芝生のお庭もあり、家族に嬉しいプランニング。



<現地写真>

<現地写真>

Stylish & Smart Life Creation 住まいをお洒落に愉しもう。



センチュリー21ハウスプロ

素敵に! 自分らしく! そして快適に!

“ワンランク上の快適な毎日”を送っていただきたいと考える当社の「コンセプトデザイン住宅」は随時モデルハウスを公開しています。

ハウスプロ

〒274-0063

千葉県船橋市習志野台3-18-9 フラワービル1階

TEL 047-496-0001 FAX 047-496-9000

MAIL info@c21housepro.com

URL http://www.c21housepro.com/